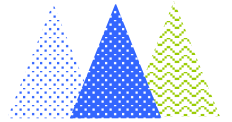




伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3031回 例会2024.6.13 No.1691



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE
In the WORLD

ソング 我等の生業

四つのテスト 職業・社会奉仕委員会

会長談話 山田 益会長 「環境技術解説」

温室効果ガスの代表格のCO₂(二酸化炭素)は、世界中では年間約326億トン(2012年)が排出されています。太陽光や風力などの代替エネルギーの開発やエネルギー利用の効率化でCO₂排出量を減らす努力が進められる一方で、化石燃料由来のCO₂を大気に放出するのではなく、地中や海底などの別の場所に隔離し閉じ込める「CO₂回収・貯留」CCS=Carbon dioxide Capture and Storageに関心が集まっています。



2006年に改正された海洋汚染防止を定めた国際条約「ロンドン条約96年議定書」では、CO₂が廃棄物等の海洋投棄の例外とされ、日本も2007年にこの条約を批准しました。

2008年のG8北海道洞爺湖サミットの首脳宣言でも、「2010年までに世界的に20以上の大規模なCCSの実証プロジェクトが開始されることを強く支持する」と重要性が強調されました。

2023年7月時点での世界中の商用施設は、392のCCS施設が存在していて、そのうちの41施設が操業段階、26施設が建設中です。日本においては2016年度より「苫小牧プロジェクト」が操業を開始しました。運営は電力会社、石油元売り会社など33社の共同出資会社「日本CCS調査(株)(JCCS)」が実施しました。そして2019年11月22日には当初計画通りの30万トンの貯留が完了となりました。今後についてはモニタリングや設備の安全、機能改善を進めています。海外においては、既に実用規模のCO₂地中貯留プロジェクトが実施されています。「スライプナー・プロジェクト」はノルウェーの石油・天然ガス採掘会社で、1996年から北海で実施しています。海底下地層から採掘された天然ガスと一緒に発生するCO₂を分離・回収し、年間100万トンを近傍の海底下帯水層に貯留しています。世界の大規模プロジェクトの中でもパイオニア的存在です。

「ワイバーン・プロジェクト」は、カナダのワイバーン油田で2000年9月からCO₂の圧入を実施しています。このプロジェクトはCO₂を用いた石油増進回収を目的としたもので、325km離れた米国の石炭ガス化工場で発生したCO₂をパイプラインで輸送し、圧入しています。2012年末までに累計で2450万トン、現在も年間300万トン規模の圧入を行っています。

日本では私がとっておいた2014年8月3日の日本経済新聞によれば、出光興産北海道製油所の一角で大規模な工事が始まり、CO₂の回収をして地下深く閉じ込める本格的な実証実験システムの建設がスタートしました。しかし世界に比べて動きが遅いと感じました。

入会式

いちよし証券(株) 伊那支店長 牧野由征様
 日商開発(株) 代表取締役 工藤陽介様
 (株)玉扇グローバル 代表取締役社長 中村修哉様



誕生祝

神山公秀・下枝正一・平澤泰斗
 唐木 章・藤本和寿

結婚記念日祝

藤澤洋二・笠井俊朗

在籍祝

荒木康雄(19)笠井俊朗(6)唐木 拓(6)
 城取健太(6)小松大介(5)矢島 豪(5)
 原 年弘(1)小松肇彦(1)



幹事報告 別紙をご覧ください

理事会報告概要

1. 6月のプログラム 2. 慶弔見舞 3. 退会者について
4. 伊那中央 RC との合同例会について
これら全て承認された。

委員会報告「雑誌紹介」親睦活動月間

6月号「ロータリーの友」赤羽弘之副会長

横組み P2～（裏表紙）には、ステファニー・アーチェック RI 会長エレクトが、「あなたのロータリーマジックを教えてください！」という、投稿記事を募集しています。



P4～RI 会長メッセージを要約します。

ゴードン R.マッキナリー RI 会長は、「一生の誇り」という記事を寄せています。

ポリオワクチンを投与したことにより、予防できたまひ症例は推定 2000 万件を上回り、ロータリー平和センターを通じ、積極的平和を世界中に広めることと合わせて、ロータリー活動はこれまで以上に重要な課題となっています。

また内なる平和（メンタルヘルス）も引き続き取組まなくてはなりません。今年度立ち上げたこの勢いを絶やさなため、全会員に行動グループに参加していただきたいと思っています。今後も変わらぬ友情のもと「世界に希望を生み出す」ためにロータリーが一丸となって尽力する姿を見守っていきたいとおっしゃっています。

P7～特集「広げよう！ロータリー親睦活動の輪」という記事が始まります。

P8 には、ヘビーメタル愛好家の親睦活動グループ「ロータリアンメタルヘッドフェローシップ」の紹介記事があります。ピンバッチがカッコいいと思うのは、私だけでしょうか。P9 に発起人のフェリックス・ハインツ氏のインタビューがあります。ヘビメタ調に訳された文章を見ると翻訳者の苦労が偲べれます。是非心の中でデスボイスで読んでください。

P12 には「ロータリー親睦活動とは？」として、親睦活動グループの紹介があります。私はモーターサイクルに登録してみようかと思っています。

P14 「もっと知りたい日本とパキスタン」という記事があります。パキスタンの国内外で移動する人問題、安全な水問題、ポリオ根絶活動などを知ることが出来ます。

P24～米山奨学生バルテニンカイテ・ラダハラサウレさんのリトアニアの紹介記事があります。バルト三国は行政の DX 化の最先端を行っていますが、記事では豊かな自然や日常生活を知ることが出来ます。

縦組みに移ります。

P4～太刀川弘和（たいちかわひろかず）氏の「ポ

ストコロナのメンタルヘルスと自殺予防」の講演会要旨が掲載されています。氏は災害派遣精神医療チームで、自然災害や事故などの際現地に赴きメンタルヘルス支援を行っているそうです。寄り添って、繋がって生きていくという、それがケアになっていくそうです。

P9～は「この人を訪ねて」豊田東 RC の川村喜平さんの記事があります。氏は4代続く陶芸一家だそうです。陶芸興味が有る方は、是非お読みください。

一年間私のつたない雑誌紹介にお付き合いいただき、ありがとうございました。

「環境保全例会」報告

飯島松一職業・社会奉仕委員長より、5月19日(日)に開催された環境保全例会について、1日の流れ、草刈りや植樹などの作業内容、ボーイスカウトの子供達とのふれあい、昼食の様子などの報告がされた。



「次年度会長・幹事会」報告

平出吉範会長エレクトより、5月22日(水)に駒ヶ根で開催された次年度会長・幹事会について、次年度の白鳥ガバナーの方針などについて説明がされた。小学生対象の「ゆめくらぶ」については、今回は見送りとする。



出席報告 会員数 55 名 内出席免除者 67 名
出席者 33 名 事前メーキャップ 0 名 出席率 76.74%

ニコニコボックス

- ・山田 益、唐澤幸利 牧野さん、工藤さん、中村さんご入会おめでとうございます。伊那 RC を育ててください。
- ・平澤泰斗 2025-26 年度の G 補佐に推薦され、承認されました。次々期はよろしくお願ひ致します。
- ・荒木康雄 伊那中央 RC との合同例会に風邪のため欠席し、申し訳ありませんでした。
- ・小林旬子 合同例会の二次会、ありがとうございました。
- ・鈴木正比古・山崎秀亮・唐木 拓 ご入会おめでとうございます。
- ・吉田秀樹 転勤になりました。2 年間ありがとうございました。
- ・牧野由征・工藤陽介・中村修哉 本日より、よろしくお願ひ致します。
- ・ゴルフ部

ラッキー賞

中村修哉・本島清隆
工藤陽介・唐木 拓
唐澤幸利・飯島松一
倉沢範行

